

2024 年度 AIM Commons サービスの運用報告

富永 麻美[†], 甲斐 晶子[†], 中村 修也[†]

抄録 情報メディアセンターAIM Commons のサービスとして提供しているノート PC 貸出サービス、機器貸出サービス、学生スタッフ主体のワークショップ、AIM Commons 広報動画公開活動について報告する。

キーワード : AIM Commons、ノート PC 貸出サービス、機器貸出サービス、ワークショップ、広報活動

1. はじめに

情報メディアセンターでは、2017 年度より、学生を対象としたノート PC 貸出サービスを提供している。このサービスでは、学生がキャンパス内の自由な場所でコンピュータを利用できるように、青山、相模原の両キャンパスにおいてノート PC の貸出を行っている[1]。学生は、ノート PC に予めインストールされた文書作成、プレゼンテーションやメディア再生等のアプリケーションを用いて、授業の予習・復習レポートや卒業論文の作成などに利活用している。また、2022 年度より、学生の発展的・能動的な学びを支援するため映像収録機器や動画編集作業用ブース、それらの周辺機器の貸出も開始した。これらの操作方法を中心に学生主体のワークショップも展開しており、サービス全体についての広報活動も行なっている。本稿では、2024 年度の AIM Commons (ラーニングコモンズ) サービス運用報告として、貸出サービスの概要と情報メディアセンターにおける運用体制について概説し、利用状況を述べる。なお、AIM Commons とは、青山学院大学情報メディアセンターに属する IT に特化した学習用の施設およびそれに付帯するサービスの総称であり、青山キャンパスは 2024 年 4 月に開館した 18 号館 (総合受付、1F ラウンジ、B1F ラウンジ、B1F ホール、18006 教室)、相模原キャンパスは B 棟 (422 教室) にある。

2. 貸出サービス

2.1 貸出サービス概要

AIM Commons 機器貸出サービスの利用対象者は青山学院在籍の教職員・大学学部生・大学院生である。教育・研究・学修を目的とした用途に限定しており、

営利目的等での利用を禁止している。

同サービスは、青山と相模原の両キャンパスの AIM Commons 内窓口および通路に設置した自動貸出ロッカーで運用している。貸出対象は大きくノート PC、映像収録機器、動画編集環境に分類される。貸出ノート PC には Windows および Mac があり、キャンパス構内において当日のみの利用ができる。表 1 に貸出ノート PC の構成とキャンパスごとの設置台数を示す。映像収録機器には、4K ビデオカメラやデジタル一眼レフカメラ、ワイヤレスカメラ、ガンマイク、三脚、プロジェクター、その他周辺機器があり、翌日正午まで利用できる (一部は AIM Commons 内のみでの利用)。動画編集環境は、AIM Commons 内に備えた高性能デスクトップ PC (Win、Mac) 設置ブースを指す。表 2 に PC の構成を示す。Adobe Creative Cloud 等がインストールさ

表 1 貸出ノート PC の構成

	Windows	Mac
台数 (青 山) (相模原)	100 台 45 台	10 台 5 台
機種	DELL Latitude E5270	MacBook Air
OS	Windows 10	macOS Big Sur
CPU	Intel Core i3-6100U Intel HD Graphics 520	第 10 世代 1.1GHz クアッドコア Intel Core i5 Intel Iris Plus Graphics
メモリ	4GB	8GB
DISK	256GB SSD	256GB SSD
DISPLAY	12.5 インチ HD	13.3 インチ WQXGA

[†] 青山学院大学 情報メディアセンター

れており、1 日につき 30 分単位で最大 2 時間まで利用できる。なお、相模原キャンパスには静音環境としてフルクローズ型のワークブースも備える[2]。

表 2 動画編集環境の PC 構成

機種	OS、CPU、メモリ、GPU	設置
マウスコンピューター DAIV-DGX750M1-SH5	Windows 10 (64bit)、Core i7-7820X 8 コア 16 スレッド 4.3GHz TB 時最大 4.50GHz 11MB、32GB、NVIDIA GeForce GTX1080	青山
Apple Mac mini	Mac OS 11.5.2、Core i7 3.2GHz 6 コア、64GB、Intel UHD Graphics 630	青山
マウスコンピューター G-Tune XP-Z-LC	Windows 10 (64bit)、Core i9-11900K 8 コア 16 スレッド 3.5GHz TB 時最大 5.30GHz 16MB、64GB、NVIDIA GeForce RTX3090	青山 相模原
Apple Mac mini	Mac OS 12.6、Apple M1 3.2GHz 8 コア、16GB ユニファイドメモリ、Apple M1 8-Core GPU	青山 相模原

2.2 運用体制

AIM Commons 機器貸出サービスは、情報メディアセンターの学生スタッフを中心となって運用しており、通常、青山キャンパス 4 名体制（総合受付 2 名、18006 教室 2 名）、相模原キャンパス 4 名体制で運営を行っている。緊急時には学生スタッフから情報メディアセンターの担当教員へ常時連絡を取れる体制を整えている。

同サービスは AIM Commons 窓口で貸出受付を行っており、ノート PC に関しては自動貸出ロッカーでも貸し出している。自動貸出ロッカーには IC カードリーダーが付いており、利用者自身が学生証を用いてノート PC の借用・返却を行うことが可能である。学生スタッフは、独自に開発した予約システムにより、日々トラブルが発生しないように学籍番号、氏名、連絡先、貸出時間や返却時間を管理し、また、日中や休み明けには貸し出す機器の入れ替えやメンテナンス作業を実施している。

窓口貸出時間は、青山キャンパスでは 10 時～16 時

45 分、相模原キャンパスでは 9 時 45 分～16 時 45 分としている。自動貸出ロッカーは、青山キャンパスでは 8 時 30 分～22 時、相模原キャンパスでは 8 時～20 時としている。窓口貸出は平日授業実施日のみのサービスであり、土日・祝日や長期休暇期間中はサービス時間外としている。

3. 貸出ノート PC の利用状況

3.1 貸出ノート PC の利用状況概要

Windows と Mac のノート PC を貸し出している。表 3 に、2024 年度の青山および相模原の各キャンパスにおける貸出ノート PC の利用状況を示す。また、月別、曜日別、時間帯別に集計した結果を以下 3.2.～3.3 に述べる。

表 3 2024 年度貸出ノート PC 利用台数

	青山			相模原		
	Win	Mac	合計	Win	Mac	合計
総貸出数	8,877	2,401	11,278	1,392 (80)	418 (36)	1,810 (116)
総利用者数	2,661	1,161	3,822	547 (59)	188 (31)	654 (85)
1 日の平均	29	8	36	7 (1)	2 (1)	9 (2)
1 日の最大	74	20	84	26 (12)	8 (3)	27 (13)

※ 各下段括弧（ ）内は総台数のうち窓口貸出の台数

※ 青山キャンパスでは窓口貸出は行わなかった

3.2 青山キャンパス貸出ノート PC 状況

3.2.1 月別貸出台数と延滞数

図 1、表 4 に、青山キャンパスにおける貸出ノート PC の月別貸出台数と延滞数を示す。青山キャンパスでは、2023 年度から自動貸出ロッカーでのみノート PC を貸し出している。学期始めの 4 月や 9 月は貸出数が少ない。学期 2 か月目以降の 5 月～7 月と 10 月～12 月は貸出数が増え、毎月 1,500 件前後であった。この傾向は例年と同じである。なお、9 月、1 月、2 月は長期休業期間を含むため貸出期間が短く、貸出数も少なくなっている。また、延滞は 44 件であった。

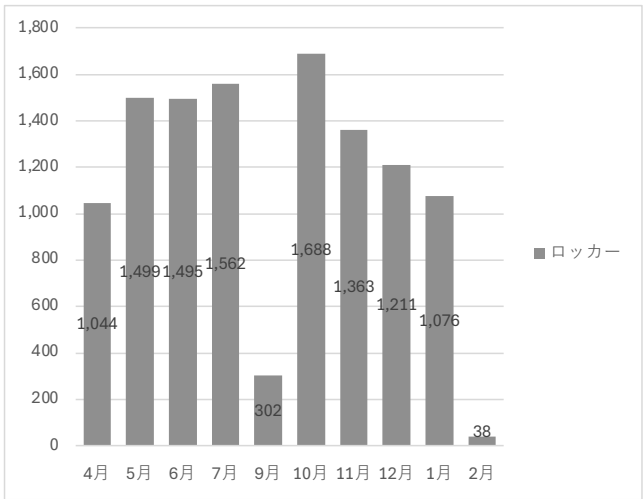


図 1 青山 月別貸出台数（貸出ノート PC）

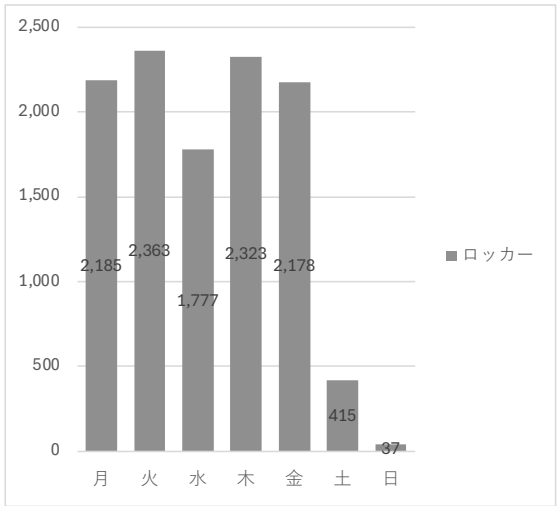


図 2 青山 曜日別貸出台数（貸出ノート PC）

表 4 青山 月別貸出台数（貸出ノート PC）

	Windows	Mac	延滞
4 月	797	247	2
5 月	1,160	339	6
6 月	1,190	305	14
7 月	1,224	338	10
9 月	239	63	0
10 月	1,350	338	1
11 月	1,078	285	2
12 月	973	238	5
1 月	836	240	2
2 月	30	8	2
総数	8,877	2,402	44

3.2.2 曜日別貸出台数

図 2 に、青山キャンパスにおける貸出ノート PC の曜日別貸出台数を示す。平日の貸出に関して、月曜日、火曜日、木曜日、金曜日の貸出が多く、水曜日は少ない傾向にあった。曜日によって開講授業数が異なることに関連していると考えられる。

3.2.3 時間帯別貸出・返却台数

図 3 に、青山キャンパスにおける自動貸出ロッカーによる貸出・返却台数の推移を時間帯別に示す。貸出は、授業開始前や授業間の休み時間の 10 時 30 分頃、13 時頃に集中し、これ以降の午後の時間帯には全台数が貸出中となる場合もあった。返却は、4 限終了後の 16 時 30 分頃、5 限終了後の 18 時 30 分頃に集中していた。

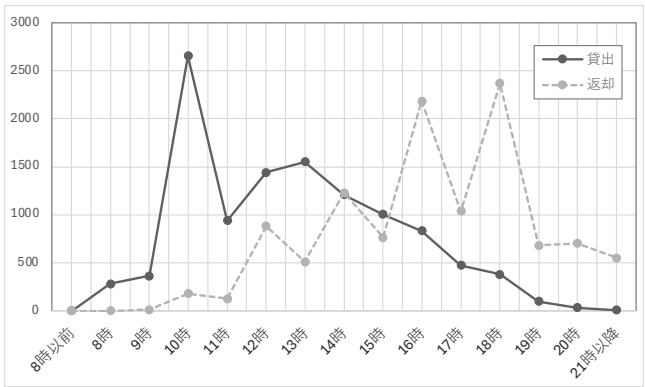


図 3 青山 時間帯別貸出・返却台数（自動貸出ロッカー）

3.3 相模原キャンパス貸出ノート PC 状況

3.3.1 月別貸出台数と延滞数

図 4、表 5 に相模原キャンパスにおける貸出ノート PC の月別貸出台数と延滞数を示す。例年と同様に学期始めの 4 月や 9 月の利用が少なく、レポートや論文等

の授業課題が課せられる学期末の周辺期間の貸出数が多い。1 月は休業期間に被っているため貸出数が少なくなっている。窓口貸出での延滞は無かった。

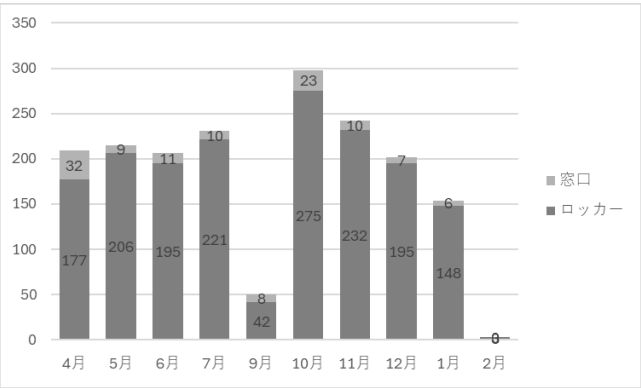


図 4 相模原 月別貸出台数（貸出ノート PC）

	Windows	Mac	延滞
4 月	167	42	0
5 月	163	52	2
6 月	159	47	7
7 月	183	48	2
9 月	37	13	0
10 月	238	60	1
11 月	184	58	2
12 月	147	55	3
1 月	111	43	2
2 月	3	0	0
総数	1,392	418	19

3.3.2 曜日別貸出台数

図 5 に、相模原キャンパスにおける貸出ノート PC の曜日別貸出台数を示す。平日の貸出に関して、火曜日、木曜日、金曜日の貸出が多く、水曜日は少ない傾向にあった。曜日によって開講授業数が異なることに関連していると考えられる。

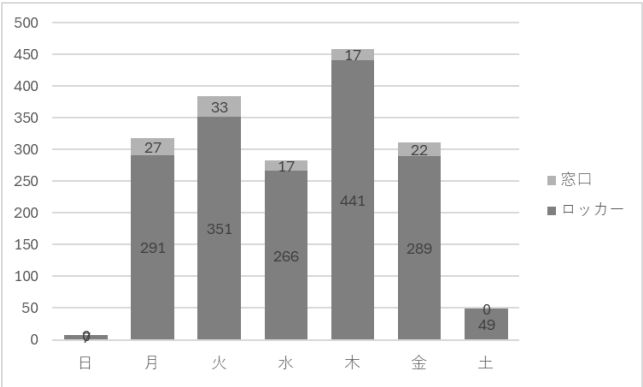


図 5 相模原 曜日別貸出台数（貸出ノート PC）

3.3.3 時間帯別貸出・返却台数

図 6 に、相模原キャンパスにおける自動貸出ロッカーによる貸出・返却台数の推移を時間帯別に示す。貸出が集中した時間帯は、10 時頃、13 時頃、15 時頃であった。返却は、14 時頃、18 時頃に集中しており、休み時間との関連はみられない。



図 6 相模原 時間帯別貸出・返却台数（自動貸出ロッカー）

4. 貸出機器の利用状況

4.1 青山キャンパス貸出機器状況

表 6 に、青山キャンパスにおける貸出機器・利用環境の貸出状況を示す。ワイヤレスマイクの利用が最も多く、次いでビデオ三脚の利用が多かった。学生によるグループ活動での動画撮影を目的とした借用も多く見られた。その他の映像収録機器や動画編集環境についても、数は多くないものの利用があった。また、18 号館 1F ラウンジには貸出用ポータブルバッテリーを 8 台設置し、AIM Commons（青山）内で利用者が自由

に利用できるようにした。

表6 青山 貸出機器・利用環境利用状況

機器および環境名	貸出数
ワイヤレスマイク (SONY UWP-D11)	32
ビデオ三脚 (Manfrotto MVK502AM-1)	22
ビデオカメラ (SONY FDR-AX100)	16
動画編集環境	16
一眼レフカメラ (EOS Kiss X7)	6
ガンマイク (SONY XLR-K2M)	6
HDMI キャプチャー (Magewell USB Capture HDMI 4K Plus)	5
総計	103

4.2 相模原キャンパス貸出機器状況

表7に、相模原キャンパスにおける貸出機器・利用環境の貸出状況を示す。静音環境の利用が突出して高く、スマホ撮影セット、動画編集環境と続いた。最も多く利用されたのは静音環境である。これはゼミの打ち合わせや教員との面談など声を出す必要がある際に役立つと好評を得ている。隙間時間を利用してオンライン英会話の練習を行なっている利用者も見かけられた。スマホ撮影セットはスマートフォンでの長時間撮影を支援するためのもので、三脚と接続するためのクランプと大容量バッテリーが入っている。ただし、長時間の撮影のためではなく、単に充電器として借りる利用者が大多数を占めると予想されたため、10月より試験的にモバイルバッテリー単体での貸し出しを開始した。半期に満たない期間であったにもかかわらず86件と多数の貸し出しがみられた。5、7番目に利用の多いACアダプターセットはAIM Commons内でPCを充電するために用いられている。本学の講義科目においてもタブレットやPCの活用が一般的になっていると予想されるが、一般教室には給電可能なコンセントが十分設置されているとはいえず、とくに研究室配属前の学生にとっての電源確保のための場として機能している。

任意の利用者アンケート結果(145件)では、また同じサービスを「利用したい」(128件)「機会があれば利用したい」(17件)との回答があり、サービスに満足している様子が窺えた。本貸出サービスをどこで知ったかについては「友人・知人・同僚に聞いた」が最も多く(80件)、ついで「掲示ポスター」(25件)、

「学生ポータルのお知らせ」(13件)、であり、「教職員に聞いた」(6件)であった。自由記述からは「またお借りします」「本当に楽しかったです!」「thank you」といった肯定的なフィードバックが見られた。一方、オンライン予約、オンライン会議用設備の充実や隣席の騒音に対する改善要望が挙げられた。

表7 相模原 貸出機器・利用環境利用状況

機器および環境名	貸出数
静音環境	138
スマホ撮影セット	128
編集作業環境	86
モバイルバッテリー	79
ACアダプターセット (Type-C)	58
ヘッドホン	45
ACアダプターセット (Magsafe)	39
ビデオカメラ (AX-100)	26
トラベル用ビデオ三脚	16
SDカードリーダー (Type-C)	13
プロジェクター	11
ビデオカメラ (AX-700)	11
Webカメラ用LEDライト付きスタンド	9
大型ビデオ三脚	9
スマートフォン用ワイヤレスマイク環境一式	8
アダプタ (TypeC-HDMI)	8
SDカードリーダー (Type-A)	8
デジタル一眼レフカメラ	5
webカメラ	4
カメラレンズ (EF 50mm)	2
ヘッドフォンジャックアダプタ (USB-C - 3.5mm)	2
ハンディカメラ	2
ヘッドフォンジャックアダプタ (Lightning - 3.5mm)	1
HDMIキャプチャー	1
iPad Air (2021年モデル)	1
Web会議マイク・スピーカー	1
総計	711

5. 学生スタッフ主体のワークショップ

5.1 学生スタッフ主体のワークショップ概要

SNS の普及にともない、写真・動画の撮影および編集は一般学生にとっても必須の自己表現手段となりつつある。その制作はスマートフォンや無償アプリケーションより行われることが大半であるが、より意図に近い表現を行うために専用機材や有償のソフトウェアの操作スキル習得に関心をもつ学生が一定数存在する。しかし、その関心を実行に移すための機会が学内に十分提供されているとは言い難い。そこで、AIM Commons では学生スタッフが主体となり、気軽に各種機器やソフトウェアを体験できる場として、一回完結のワークショップを開催することとした。ワークショップの形態や内容は青山と相模原の各キャンパスでのニーズに合わせ、企画・実施している。初年度となる 2022 年度はワークショップのプロトタイプ版を設計・試行した[3]。その後も継続して、前期と後期の学期中に各キャンパスにおいてワークショップを開催している。

5.2 青山キャンパスワークショップ

AIM Commons（青山）では、2024 年 4 月から 2025 年 1 月に対面ワークショップを 7 種類、計 381 回実施した（表 8）。受講者は、Adobe 社製のソフトウェア（Premiere Pro、After Effects、Illustrator、Photoshop）の基本操作や、HTML と CSS、JavaScript を用いた Web ページ制作や Web デザインの基礎、Blender を用いた 3D モデリングの基本操作を学ぶことができる。各講座は難易度順に 4 段階（Vol.1～4）を用意しており、徐々に操作方法を身につけられるよう設計している。学生ポータルで募集案内を行い、Google カレンダーの予約機能により先着順で受け付けた。今年度は Vol.4 までを開講した。受講者のうち 46.8%が講座を 2 回以上受講した。キャンセル率は 35.0%であった。

表 8 AIM Commons（青山）における講座実施数

講座	総数	Vol. 1	Vol. 2	Vol. 3	Vol. 4
Premiere Pro	74	27	20	15	12
After Effects	39	15	9	9	6
Illustrator	131	44	38	27	22
Photoshop	10	6	4	0	0
Web デザイン （初級）	100	38	30	18	14
Web デザイン （中級）	4	1	1	1	1
Blender	23	12	5	3	3
計	381	143	107	73	58

5.3 相模原キャンパスワークショップ

相模原キャンパスは理工学部や社会情報学部が設置されており、情報通信技術に関心の高い学生が比較的多く集まる。手厚い人的支援がなくとも公式ドキュメントやチュートリアルで独習可能である場合が多いことから、2023 年度からは講師なしでの自学型ワークショップとして Self-guided Workshop を常設している。これは、AIM Commons 内の動画編集環境（1 章参照）に設置された PC 端末から各種ソフトウェア（Adobe 社の Premiere Pro、After Effects、Illustrator、Photoshop）の解説資料を参照できるようにしたものである。また、AIM Commons 内には入門者向けの関連図書を配架している。必要に応じて学生スタッフの支援を受けながら個別ペースで学習できる環境が整っている。

同時に、特に入門段階において細やかな人的支援を必要とする学生に向けて、機材・ソフトウェアが持つ機能の本質を正しく伝え、実際に使う機会を提供するために、1 回完結型の対面ワークショップを実施した。

2024 年度後期には、学生スタッフが講師を務める、Adobe Photoshop 入門講座、Adobe Illustrator 入門講座、一眼カメラ入門講座（絞り・ボケ編）、一眼カメラ入門講座（ズーム・単焦点レンズ編）、Adobe Premiere Pro 入門講座の計 5 種類の Workshop を常設するようになった。これらの対面ワークショップは、10 月下旬から、学生ポータルで案内を行い、Notion で作成したワークショップ専用ページから予約を受け付けた。

さらに、常設ワークショップの認知向上を目的として、2024/12/16～2024/12/23 にかけて、Adobe Illustrator を用いてクリスマス为主题としたポストカード制作

を体験するクリスマス限定ワークショップを実施した。

2024 年度のワークショップ受講回数は、Self-guided Workshop が 2 回、クリスマス限定ワークショップを含めた Workshop が 21 回であった。

6. AIM Commons における広報活動

AIM Commons の施設・サービスについて学内における認知度向上を目的とし、2022 年度から学生スタッフ主体の広報活動を行っている[4]。2024 年度は、AIM Commons（青山・相模原）に所属する学生スタッフが主体となり、キャンパスごとに同施設やサービスについての情報提供活動を行なった。相模原キャンパスでは、2023 年度に引き続き、リーフレットやポスターといった紙媒体を学生食堂などの学生の目に触れやすい場所に設置し、広報用動画を制作し YouTube で公開した (<https://www.youtube.com/@agu-aim>)。青山キャンパスでは、ポスターや机上カード等の紙媒体に加え、静止画・動画コンテンツを自動再生するサイネージを 18 号館の AIM Commons 内に設置し、さらに広報用動画の制作と YouTube 公開を新たに始めた (URL は同上)。また、学生をメインターゲットとしたウェブサイトを開設している (<https://commons.aim.aoyama.ac.jp/>)。

2024 年度は、広報用動画を計 7 本（青山キャンパス 2 本、相模原キャンパス 5 本）制作した。動画制作開始時（2021 年 10 月）から 2025 年 3 月末までの相模原キャンパスによる YouTube 動画公開本数は、16 本となった。青山キャンパスおよび相模原キャンパスが制作・公開した全動画の、2025 年 3 月末までの再生回数は合計 10,595 回であった。

さらに、AIM Commons および常設ワークショップの認知向上を目的として、2024/4/22～2024/4/26 にかけてイベントを実施した。相模原キャンパス AIM Commons の半面を使用し、施設や AIM Commons について説明を行うセッションと貸出機器の利用体験ができるブースを設置し、20 名の参加があった。

7. おわりに

AIM Commons が提供する機器貸出サービスの概要を説明し、2024 年度の利用状況をまとめた。自動貸出ロッカーによりスムーズな貸出手続きが可能となり、また、映像収録機器、動画編集環境サービスの利用数も伸びて高い満足度を得ている。これら貸出機器の充電やメンテナンス、需要の高い時間帯の迅速な入れ替えに柔軟に対応してそれを支えているのは学生スタッフである。また、2024 年度はこれらの貸出機器を活用するため学生スタッフ主体によるワークショップの規模・種類を拡大した。そして、キャンパスごとに異なる学生のニーズをよく理解し、これらのサービスを含めた ICT 全体の活用推進を目的として広報活動を進めているのもまた学生スタッフである。受付や質問対応の範疇を超えた多様な業務を担う学生スタッフには、存分に力を発揮してもらうため、今後は業務遂行支援の仕組み整備やサポート体制の構築が求められる。

参考文献

- [1] 甲斐晶子, 村上雄大, 中村修也, 丸山広, 「2022 年度 AIM Commons 機器貸出サービスの運用報告」, 青山インフォメーション・サイエンス, vol. 50, no. 1, pp. 16–19, 3 月 2023, doi: 10.34321/22700.
- [2] 甲斐晶子, 中川幸子, 「2022 年度 AIM Commons 静音ブース貸出サービスの導入と運用」, 青山インフォメーション・サイエンス, vol. 50, no. 1, pp. 20–21, 3 月 2023, doi: 10.34321/22701.
- [3] 甲斐晶子, 村上雄大, 中村修也, 「AIM Commons における学生スタッフ主体のワークショップ実施報告(2022 年度)」, 青山インフォメーション・サイエンス, vol. 50, no. 1, pp. 12–15, 3 月 2023, doi: 10.34321/22699.
- [4] 甲斐晶子, 「AIM Commons における広報活動報告」, 青山インフォメーション・サイエンス, vol. 50, no. 1, pp. 22–23, 3 月 2023, doi: 10.34321/22702.